

平成30年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
7月23日（月）	益田地区振興センター	19:00～20:10	24	4	28

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開会（秘書課長）

- ・会の趣旨説明
- ・出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本年度は施政方針の基本方針として「連携の進化（深化）」ということ掲げている。昨年度は「地元民間企業との連携の強化」を重要な柱としていたが、本年度はさらにそれを一歩推し進め、深く掘り下げることを考えている。

・官民連携

官民連携のもっとも典型的な取組として「自転車によるまちづくり」がある。本市においてはこれまでに、民間の団体が自転車のイベントや競技大会を開催してこられ、自転車ロードレースに対する機運が高まってきた。それを受けて市も2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の事前キャンプ誘致を進めていくことを決めたところ。特に本年は、全日本自転車競技選手権大会という最高峰の大会を北仙道地区と種地区で開催することができた。

また、この10月から、オムロンヘルスケアという血圧計で世界トップシェアを誇る会社から無償で機材の提供を受け、同社や益田市医師会、島根大学医学部などの医療機関と連携し、血圧測定により市民の健康を守る取組を進めていくこととしている。最初は200～300人からはじめ、ゆくゆくは2,000人規模にまで対象者を広げていきたい。これを最低5年間続けることによって、心臓や脳の病気の早期発見、早期治療につなげていきたいと考えている。

・政策間連携

政策間連携の代表的なものは「歴史を活かしたまちづくり」である。東京大学史料編纂所や島根県古代文化センターとの連携もこれに含まれるが、歴史研究や発掘調査だけでなく、それを深めていくことによって、観光素材の開発、歴史にちなんだ土産物開発など地域経済の振興に繋げる目的もある。特に、益田地区は中世の基盤であった所なので、今後も地域の思いや意見をくみ取りながら政策間連携を進めていきたい。

・都市間連携

先日の大阪北部地震に際しては、姉妹都市高槻市からの要請に応じ、被災家屋の判定について、税務課固定資産税係の職員を派遣したところである。また、同市とは、災害時の相互応援のほか、ふるさと納税の返礼品の相互提供も行っている。

また、川崎市とは平成25年に覚書を締結し、文化・スポーツの相互交流を行うが、昨年度はこれに加え、同市に本社のある企業が開発した特許のうち、休眠特許と呼ばれる未活用の特許の活用について益田市内の中小企業へのマッチングを行った。今後もこれを継続していきたい。

・大学との連携

首都圏、特に東京の大学との連携に力を入れていきたいと考えている。昨年は大正大学地域創生学部の1年生7名が市内に滞在され、益田地区の資源の掘り起こしや商店街の魅力の発信に携わってもらった。

本年は東京大学の体験活動プログラムにより同大学との連携を行うことがほぼ確定している。これは、歴史を活かしたまちづくりとこれから派生した観光商品やツアーの造成に向けた取組で、4名の学生に夏、秋2名ずつ益田に来てもらうことになっている。

・広域連携

県や近隣市町との連携も重要で、典型的な取組が萩・石見空港の利用促進や道路整備の要望活動になる。

空港については、この3月末からも東京線の2往復運航がさらに2年間継続されている。この最も大きな要因は、島根県が昨年東京線利用拡大対策会議や対策室という組織をつくり、前面に立って利用拡大に取り組む姿勢を示されたことにある。この結果、昨年の年間搭乗者数ははじめて14万人を超える実績になった。空港の利用拡大については、飛行機を利用する人にメリットがあるのは勿論のこと、この地域の産業振興や医師確保など様々な面で効果があることから、今後も全力で利用促進、利活用に努めていきたい。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 地域住民との連携について
- ② 活動費の支援について
- ③ 観光開発について
- ④ 益田市のPRについて
- ⑤ 観光PRについて
- ⑥ 蟠竜湖について
- ⑦ 市道有明東町線について
- ⑧ 益田・浜田・萩・長門4市長会議について
- ⑨ 史跡益田氏城館跡について
- ⑩ 雪舟庭園を通じた交流促進について
- ⑪ 双川峡について

○ 閉 会 （秘書課長）

平成30年度「市長と語り合う会」

〔会場 益田地区振興センター〕 開催日時：平成30年7月23日（月）19:00～20:10

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 地域住民との連携について 施政方針の基本方針に「連携の進化（深化）」を挙げているが、一番強化してほしいのは我々地域住民との連携で、様々な情報が下りてこないように思う。考えを聞かせてほしい。</p> <p>② 活動費の支援について 安来市で行われる山城サミットへの参加や旧街道の掘り起こしを目的に国交省から認定を受けたますだ歴史浪漫街道への取組など、益田地区では歴史を活かしたまちづくりに関連して、市内外で様々な活動・取組を行うところであるが、資金の調達に苦慮している。何とか支援してほしい。</p> <p>③ 観光開発について 益田を訪れる人に益田でお金を落としてもらうにはどうすればよいかを考えている。特に、この地区には雪舟焼の窯元や鍛冶屋、酒造元、土産物売り場など最高の素材があるし、東高校体育館～やさか橋までの通りを整備すれば、津和野のような街並みとして売り出すこともできる。観光に繋がるような施策を考えてほしい。</p> <p>④ 益田市のPRについて 先日、東京のにはほんばし島根館を訪ねたら、益田市のパンフレットやメロンなど特産品が置いてなかった。また、ふるさと納税の資料には益田市と津和野町のみ情報が掲載されてなかった。もう少しPRされてはどうか。</p> <p>⑤ 観光PRについて 自分は20年以上、京都で外国人の観光案内を続けていた。その時に使用した観光辞書の中に、京都の神社仏閣と並んで益田の萬福寺、医光寺が写真付きで紹介されていた。地元の人には身近にこうした宝物があるのを気づいてないように感じる。市も自分たちの宝物をPRするよう努力してほしい。</p> <p>⑥ 蟠竜湖について 以前、蟠竜湖は大勢の人で賑わっていたが、最近は訪れる人の数も減ってきたように思う。ボートの免許コースにするなど、蟠竜湖を売り出す方法を考えてみてはどうか。</p>	<p>①きめ細かい情報提供を心がけていきたい。</p> <p>②まず、市が補助を行うにはきちんと予算立てを行い、議会承認を得る必要がある。その上で、市としても財政的に厳しいところがあるので、国の補助など他から使える財源を引っ張ってくることも考えたい。前もってご相談いただきたい。</p> <p>③地元の観光資源になり得る素材を活かして観光コースを造ることは重要なことであると思う。益田地区には多くの文化財があるが、これまで本市では、こうした文化財と様々な観光地を組み合わせ、外部の人に来てもらう取組はやや遅れていた。このことから、本年度より観光協会を法人化し、組織改正を行ったところで、今後、魅力ある観光情報の発信ができるような体制をつくってきたい。</p> <p>④指摘の点を島根県に伝え、改善するよう強く働きかけていきたい。</p> <p>⑤市もPRに努めているが思うように浸透してないように思う。どの様にしたら効果が上がるのか考えてみたい。</p> <p>⑥蟠竜湖は県の管理になるので県とも相談しなければならないが、良い方法を考えてみたい。</p>

<p>⑦ 市道有明東町線について 三宅御土居跡と泉光寺を結ぶ市道の道幅が狭いうえ、道路横に深い側溝が続いており、非常に危険な状況。以前から自治会を通じて要望する事項であるが、早急に改良してほしい。</p> <p>⑧ 益田・浜田・萩・長門4市長会議について 県境を越えた近隣4市で交流することは素晴らしいことである。これにより、どの様な成果があったか。</p> <p>⑨ 史跡益田氏城館跡について 益田氏城館跡については、整備検討委員会において本年度末を目途に整備計画を策定すると聞いている。策定後、直ぐに整備が進むとは思ってないが、少しでも現地の状況が変わるということを早く見せてほしい。できることから着手してほしい。</p> <p>⑩ 雪舟庭園を通じた交流促進について 雪舟の庭で史跡・名勝に指定されているのが西日本に4カ所ある。益田の医光寺、萬福寺に加え、山口市の常栄寺と福岡県の旧亀石坊。その意味でも山口市あたりと連携し、本市に観光客を呼び込むような施策を考えたらどうか。</p> <p>⑪ 双川峡について 長い間双川峡に立ち入ることができなくなってきている。一つのパワースポットとして魅力ある資源なので、早く立ち入り可能となるよう対処してほしい。</p>	<p>⑦関係課に伝えたい。</p> <p>⑧この会議の目的は、4市それぞれの取組を情報共有することにあるが、観光列車の運行にかかるJRへの要望など4市で共通した課題に取り組むこともある。今後も連携して取り組んでいきたい。</p> <p>⑨本年度中に整備計画を策定する予定である。指摘の点のご意見として賜りたい。</p> <p>⑩指定される4つの庭園のうち2つの庭園が本市にあるということは誇らしいことであると思う。関係自治体と連携し、さらにPRしていきたい。</p> <p>⑪落石の危険性があるため立ち入り禁止としている。人命にかかわる問題なので、道路管理者としては、落石の危険性が完全になくなるまでは解除できないと思っている。</p>
---	--